

6月議会（2021.6.4～28）の報告

◆◆◆ 2021年度補正予算が決まりました ◆◆◆

前回のニュース（007号）でも報告した通り、3月議会の骨格予算に今回の6月議会の補正予算を合わせたものが「本年（2021年）度の予算」となります。

歳入

歳入予算の推移

単位：千円、%

	令和3年度 6月補正後予算		令和2年度 当初予算		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
市 税	6,642,809	24.6	6,731,149	27.0	△88,340	△1.3
地方交付税	5,263,000	19.5	4,742,000	19.0	521,000	11.0
国県支出金	7,800,412	28.9	7,944,387	31.9	△143,975	△1.8
繰入金	1,119,397	4.1	1,180,401	4.7	△61,004	△5.2
市 債	3,093,700	11.5	1,328,300	5.3	1,765,400	132.9
その他	3,090,470	11.4	3,026,329	12.1	64,141	2.1
合計	27,009,788	100.0	24,952,566	100.0	2,057,222	8.2

一般会計予算の総額は前年と比べると8.2%の増加となっていますが、これは新型コロナウイルス感染症の影響による税収入の減額は予想されるものの、新型コロナワクチン接種事業に係る経費や子育て世帯生活支援特別給付金に係る補助金やその他の支援のための新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金など変動要因によるものです。

歳出の主なものとしては「行政経営システム構築委託料」「共働による未来創造支援事業委託料（幸せのまちづくりラボ事業）」「多胎妊産婦サポーター事業委託料」「ふくとびあ管理運営費における空調改修工事費」「キャッシュレス消費喚起委託料」「観光推進組織体制強化事業補助金」「小・中学校校舎施設整備事業費（神興東小、福岡東中の体育館の照明をLEDに交換）」「図書館システム使用料（電子図書導入）」「古墳整備工事費（世界遺産保存活用事業）」「サイクルツーリズム走行環境整備料（県の事業）」などです。

歳出

歳出予算の推移

単位：千円、%

	令和3年度 6月補正後予算		令和2年度 当初予算		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
人件費	3,199,295	11.8	3,099,457	12.4	99,838	3.2
物件費	3,858,146	14.3	3,229,058	12.8	629,088	19.5
扶助費	7,681,727	28.4	7,348,635	29.5	333,092	4.5
事業費	3,777,331	14.0	3,508,424	14.1	268,907	7.7
公債費	1,991,300	7.4	1,960,295	7.9	31,005	1.6
繰出金	2,409,398	8.9	2,294,052	9.2	115,346	5.0
その他	4,092,591	15.2	3,512,645	14.1	579,946	16.5
合計	27,009,788	100.0	24,952,566	100.0	2,057,222	8.2

※事業費は、普通建設事業費と災害復旧事業費の合計。

また、6月議会最終日（6月28日）に、追加議案として補正予算が出され、コロナ対策費や生活困窮者自立支援などの予算63,379,000円が追加されました。コロナ対策費はワクチン接種の対象年齢が低くなることによる業務増加に対応し、コールセンターの拡充をはかるものです。この補正予算によって、歳入歳出の総額は最終的に**27,073,167,000円**となりました。

6月議会（2021年6月4日～6月28日）の一般質問

1 コロナ禍における支援について

質 問

- ・市独自の支援策は？
- ・全国的に問題視されている「生理の貧困」についての市の対策は？

市の答弁

- ・事業者向けには、「福津エール飯」「リフォーム券の発行」「キャッシュレス決済の導入」によって喚起を促す、個人向けには、「住宅確保給付金」「就労支援」「家計改善支援事業」また緊急対応が必要な方にはフードバンク福岡から提供された食品を渡している。
- ・近隣市町村の動向を見ながら検討する。



誰もこぼれることがない支援策を

今回、国の政策として低所得の「ひとり親世帯」「その他の子育て世帯」に児童1人あたり5万円の特別給付金が出ています。とはいえ、長らくコロナ禍の中、中間層の世帯も高齢者も生活に不安がないとは言えません。国や県の支援策に市独自の支援策をプラスして、誰もこぼれないような支援を実施してほしいです。

また生理の貧困も、単に経済的な理由から生理用品が買えないという問題だけでなく、配偶者やパートナーからのDVや、親からの虐待、その他には父子家庭で父親に恥ずかしいから買ってほしいと言えないという背景も見えてきました。

さらに内閣府男女共同参画局がこの「生理の貧困」も含めての支援策として「地域女性活躍推進交付金」の拡充をはかっていることも一般質問の中で話をしたところ、この交付金を活用しての支援策と学校教育の中での生理の貧困対策、ただ生理用品を配布するだけでなく環境を整える事も含めて考えていきたいという旨の答弁が執行部からありました。

現在、事業として何ができるかを担当課と力を合わせて調査・検討しています。



宗像市の民間団体「むなかた男女共同参画協議会」が設置した「おもいやりBOX」。宗像市内の公共施設のトイレなどに設置されています。

3 地域学校共同活動について

質 問

・コロナ禍で校外学習ができなくなった昨年度、津屋崎校区では地域コーディネーターがオンライン中継という形で授業を実施した。この件について市の見解は？

・中継に使った通信費は地域コーディネーターの自費である。この点の通信ネットワークの環境整備をお願いしたいが。

市の答弁

・ICTの活用により、学校外の地域や、離れている学校同士とも繋がるなど、時間と距離を超えた遠隔学習が可能となり、児童生徒が多種多様な学びができるいい事例なので、これからも幅広い学びを推進していきたい。

・ICTを活用するに対して通信ネットワーク環境の必要性は認識している。学校として地域と繋ぐ方法の1つとしての補助をどう対応するのかを、これから検討していきたい。

2 災害時の避難所開設について

質問

- ・災害対策の現状について
- ・郷づくり交流センターを避難所として開設する検討は？



市の答弁

・ 昨年の台風10号接近時に多くの市民が避難した際の課題を踏まえ、準備をしている。災害対応時の情報提供や避難指示など避難情報を消防団と連携するなど、丁寧な広報活動をしていく。

指定避難所については、中央公民館に加え、郷づくりごとに1か所ずつの避難所開設を予定している。

・ 開設する避難所施設が定員に達する状況や、避難生活が長期化するような場合においては、郷づくり交流センターを含めその他の公共施設を指定避難所として利用することも検討している。



台風時などは**徒歩圏内**の避難所を

昨年の台風10号では、かなり大きい台風だと事前に報道されていたのもあり、たくさんの方が自主避難されました。しかしながら当初の避難所は中央公民館、避難所開設時間は17時だったため、周りが暗くなっての避難に不安が募った高齢者の方々もいらっしゃいました。

いつ起きるか分からない地震などと違って、台風は天気予報やニュースで事前の報道で進路予想や規模などがある程度わかります。こういった災害の場合は、歩いて行ける場所に避難所を開設してもいいのではないのでしょうか。郷づくり推進協議会の交流センターは学校に隣接していたり、近くだったり、皆さんが住んでいる自治会から歩いていきやすい場所にあることが多いので、こういった施設を利用できれば、安心する方も増えると思います。

また2021年7月3日に発生した静岡県熱海市の土砂災害の例もあり、いつ災害が発生するかは誰にも分かりません。いろんな災害に対応した避難所の開設や、地域のみまもりやささえ合いなども含めて、一人一人の命を守ることができる地域を作るための対策が必要です。自助・共助だけでなく公助もしっかりと。



コロナ禍でも子ども達に**学びの機会**を

コロナ禍で校外学習や市内の他の小中学校との交流の機会が少なくなりましたが、オンラインを使ってできることもあります。その一例が津屋崎校区の「ふるさと学習」です。それまで児童生徒が現場に行って話を聞いたりしていたことを、地域コーディネーターがスマホを片手に代表で現場に行き、その様子をオンラインで教室にいる児童生徒に伝えてきました。もちろん児童からの質問タイムなども可能です。

2021年3月には市内全ての学校に1人1台タブレット導入されました。自宅に持ち帰っての学習に使うことも想定されていますが、このようにオンライン学習で使う事も可能になります。

そのためにも、地域コーディネーターに対して通信費などの個人負担が発生しないような環境整備をお願いしたいです。そうでないと、個人負担が暗黙の了解となると、業務に対する負担感が増えて、次の地域コーディネーターの成り手が出てこない可能性も出てきます。

全員協議会（7月5日）以下の案件の説明と報告が行われました

行政報告

- 1.福津市福祉会館「潮湯の里 夕陽館」の現状と民営化のスケジュール等について
- 2.津屋崎行政センターの近年の状況と今後の方針について
- 3.津屋崎郷づくり交流センターの設置方針について
- 4.旧魚正の建物明渡し請求事件に関する訴訟について
- 5.観光地域づくり法人（DMO）の設立について
- 6.新型コロナワクチンの接種状況について

「1.潮湯の里 夕陽館」については、塩の付着による現在電気システムの故障により再開のめどが立っておらず、早急に修理を完了させ、利用できる状況に戻しての民営化と考えており、公募は秋ごろの予定です。

「2.津屋崎行政センター」の廃止については、証明書の発行について利用者数がかなり減ったことが大きな理由です。

そしてその跡地として「3.津屋崎郷づくり交流センター」の設置という説明がありました。

行政センターは、福間と津屋崎の庁舎統合の際に「行政サービスは残す」という理由で残ったと記憶しています。（庁舎統合当時は郷づくり神興東の事務局員でした）

質疑の中で、議員側からは行政サービスは証明書発行だけでなく、どこの窓口にいけばいいのかなどの相談もあるため、地理的に福間庁舎まで行きづらい方に対してのサポートについてはどうするのか、などの意見があがりました。

仮に廃止となるのであれば、行政サービスのニーズに応える施策を考えるべきではないでしょうか。

この点も含めて、合併から続いている施設の統廃合や市民サービスについて、地域の皆さんの声を届けていきます。

「5.観光地域づくり法人（DMO）の設立について」は、様々な産業とをつなぐ役目として、「一般社団法人」形式での組織設立をし、福津の観光の魅力と価値をさらに高めることを目指すとのことで2022年4月を事業開始を目標に進めているそうです。

「4.旧魚正の建物明渡し請求事件に関する訴訟について」と「6.新型コロナワクチンの接種状況について」は進捗や現状の報告でした。



次期衆議院選 公認候補予定者



宗像市・福津市・古賀市・糟屋郡

田川市・行橋市・豊前市・田川郡・京都郡・築上郡



福岡4区 衆議院議員選挙 予定候補者

竹うち 信昭

電話：0940-72-5188



福岡11区 衆議院議員選挙 予定候補者

しき 玲子

電話：0947-42-4770